

適正利用・エコツーリズム WG 担当 長期モニタリング見直し案整理表

モニタリング項目	現 行		素 案	
	No. 19 利用実態調査	No. 19a 適正利用に向けた管理と取組	No. 19b 適正な利用・エコツーリズムの推進	No. 19c 利用者数の変化
モニタリング実施主体	環境省	環境省（適正利用・エコツーリズム WG 事務局）	環境省（適正利用・エコツーリズム WG 事務局）	関係行政機関、事業者等
対応する評価項目	VII. レクリエーション利用等の人為的活動と自然環境の保全が両立されていること			
モニタリング手法	利用者カウンターによるカウントおよびアンケート調査等により主要利用拠点における利用者数を把握	知床白書掲載内容及び適正利用・エコツーリズム検討会議資料や行政機関等への聞き取り調査により適正利用に向けた管理と取組を抽出し列挙	遺産地域利用関係者への聞き取り調査により適正な利用やエコツーリズムの推進状況を把握	利用者カウンターによるカウントやアンケート調査等により主要利用拠点における利用者数を把握
評価指標	利用者数、利用方法、利用者特性	管理と取組の実施状況	知床エコツーリズム戦略の基本方針に沿った事業の実施状況、利用者の増減、客層の変化、自然環境への懸念	各利用拠点等の利用者数
評価基準	各利用拠点の特性に応じた適正な利用となっていること。	「知床エコツーリズム戦略 9. 具体的方策」を実現するための管理や取組が行われていること。	「知床エコツーリズム戦略 5. 基本方針 (1)、(2)」に基づき、適正な利用およびエコツーリズムの推進が行われているか。	基準なし (利用の実態を把握するためのモニタリング)
想定されるデータ収集先	-	知床白書、エコツーリズム検討会議資料、環境省、林野庁、北海道、斜里町、羅臼町、知床財団、斜里町観光協会、羅臼町観光協会ほか	斜里町、羅臼町、知床財団、斜里町観光協会、羅臼町観光協会、知床ガイド協議会、知床羅臼ガイド協会、知床小型観光船協議会、知床羅臼観光船協議会、赤岩地区昆布ツアー一部会、知床五湖冬期利用促進事業検討部会、観光船・ガイド事業者ほか	環境省、林野庁、北海道、斜里町、羅臼町、知床財団、自然公園財団、羅臼遊漁船組合、斜里バス、観光船・ガイド事業者ほか